

令和5(2023)年度 使用済製品等のリユースに関する 自治体モデル実証事業調査・分析業務 実施概要 (蒲郡市 委託事業)

1. 業務の目的

市のクリーンセンターに持ち込まれる粗大ごみのうち、まだ使用できるものをメルカリShopsに販売することでリユースの推進を図るとともにごみ処理量の削減を図る。また、市が率先してリユースの推進を図ることで市民のリユース意識の定着を図ることを目的として、本調査は、以下の視点に基づいて事業モデルの構築を支援した。

① 調査分析業務

- ・現在の業務フローを分析するとともにフローチャートを作成し、業務の見える化を図るとともに最適な業務フロー構築の支援を行った。
- ・直営によるコスト及び委託によるコストを分析し、粗大ごみのメルカリShopsへの販売利益との収支の分析を行った。
- ・粗大ごみのメルカリShopsへの販売実績をもとに、販売数量、販売重量、販売品目、CO2削減量の推計等を集計した。
- ・クリーンセンターに持ち込まれる粗大ごみのうちリユースできるごみの量や品目等を分析した。

② 事業モデル構築業務

- ・収益面、実務面、委託者が行うアンケート調査の効果検証及び①の分析結果を踏まえ全国の自治体への横展開を見据えた事業モデルの構築を支援した。

2. モデル事業の概要(一部抜粋)

- ・使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業は、市民のリユース意識の向上やごみ処理量の削減、雇用の創出を目的とし、従来型の処理方法のみならず、新たなリユースモデル「がまごおりモデル」の構築を企図した。
- ・市民から持ち込まれた粗大ごみを選別し、リユース可能な資源を商品として「メルカリShops」にて販売した。また、出品販売業務をシルバー人材センターへ委託することで出品量の増加や雇用創出、参画した市民のリユース意識の向上を図った。
- ・モデル化した事業は「がまごおりモデル」としてワンパッケージ化し、他の自治体への横展開を視野にとりまとめを行った。

